



愛宕っ子

令和5年12月25日

旭川市立愛宕小学校

学校だより 第9号

愛宕っ子の学び・体験は未来につながる

校長 北島 裕二

一年でもっとも長い2学期が終了しました。子どもたち一人一人にとって、また、皆様にとってどのような日々を過ごされましたでしょうか。学校では、気温上昇による熱中症対策で下校を早めた日があったり、よりよい発表のため夢中になって取り組んで温かなご声援をいただいた学習発表会や、5・6年生が道德の授業で車いすバスケットボール男子日本代表ヘッドコーチの京谷和幸さんのお話に聴き入る機会があったり、ほかにも様々なことがありました。子どもたちは何より日々の授業の積み重ねを通じて、生きるために必要な数多くのことを学んだのではないかと思います。

冬休みは20日間と夏休みよりちょっぴり短いですが、普段よりも家族と関わる時間が多くなると思います。お子様に「テーブルふき」「茶わん洗い」「玄関掃除」など、お客さんではない家族の一員として、できそうな仕事を何か一つ続けさせてみてはいかがでしょうか。「頑張らせて褒める」ことが前向きな生き方につながると思います。将来、子どもたち一人一人が主役となり世の中で活躍するなど充実した人生を歩むためには、



何より自分の力を信じるのが大切です。そのためには、どんなささいなことであっても「自分是可以する!」「頑張ってたかった!」「(大事な人に)褒められた!」という経験の積み重ねが、未来を生き抜く大きなエネルギーになります。休み中は、お子様の生活リズム・「早寝早起き朝ごはん」を守っていただき(年末年始などは「例外的に」夜更かし・年越しなど体験させてもよいと思います…)、休み中ならではの経験をさせていただければと思います。

先ほど「将来」「未来」という言葉を使いました。今から30年後には、1年生は37歳に、6年生は42歳になります。そして私は85歳です。生きていたとして、恐らく今の愛宕っ子の世代に支えられて生活が成り立つ状態でしょう。そのとき、大人になった愛宕っ子一人一人が元気に生活を営み、社会で自分のよさを生かして活躍する存在であってほしいと願わずにられません。予測の難しい未来を前にして、愛宕っ子が今、様々なことに興味をもって学び、チャレンジをして過ごすことは、後の人生にきっと役立ちます。だからこそ、私たち大人は、それを手助けし、励ます存在でありたいものです。

17～18日の大雪の日、歩道の除雪が追いつかない状況でした。学校近くの道を通ると、交差点の両側で、ご近所の方でしょうか、子どもの背丈ほどもある雪山をかいて通り道を開けてくださっていました。そのおかげで、子どもたちは大雪直後から今日まで、安全にその交差点付近を通行することができます。愛宕っ子などの安全面を考えられたご厚意に、心から感謝申し上げます。



～日本文化の体験～

総合的な学習の時間

6年生の「総合的な学習の時間」で、日本の文化に触れる機会がありました。お茶、生け花、水墨画、琴の演奏。どれも現代の日常生活では体験する機会が少なくなっている文化の一つだと思います。



6年生の子どもたちは、講師の方たちの説明を真剣に聞き、そして、実際に体験することができました。

地域のお住まいの講師の皆様には、学校の教育活動にご協力いただきましたこと、心から感謝申し上げます。



～学校閉庁日のお知らせと休日等における緊急の連絡先について～

冬季休業期間中、6日間の学校閉庁日（12月29日～1月3日）を設定しています。学校閉庁日や休日・祝日に、事故や新型コロナウイルスへの感染など、緊急な連絡が必要になった場合、本校のホームページの「お知らせ」→「入力フォームのお知らせ」に掲載してある、googleフォームを利用してお知らせください。



1月の予定

- 1日（月）年始の休日（学校閉庁日）～3日
- 8日（月）成人の日
- 15日（月）3学期始業式

- 16日（火）スキー学習5, 6年
- 22日（月）スキー学習3, 4年
- 23日（火）スキー学習5, 6年
- 24日（水）読み聞かせ 外国語サポーター